

# 東教大 筑波移転へ評議会案

## 管理運営を強化

### 「モデル大学」並みの内容

筑波大学への移転問題が、評議会と大学との正式方針を定めた。評議会は、移転の目的を「評議会案」で明らかにした。

同評議会は、同案とともに、この案による移転の可否を評議会へ諮るが、最終決定は、次

の評議会と大学との正式方針を定めた。評議会は、移転の目的を「評議会案」で明らかにした。

同評議会は、同案とともに、この案による移転の可否を評議会へ諮るが、最終決定は、次

から成っているが、「新しい大学の管理運営はどうか」ということについて、長所から生まれた

にウエイトが置かれている。その第一は、学部自治とその協働となる体制を築き、管理運営を強化することである。

この他、注目されるのは、同大が「モデル大学」として、公開講座や学長賞として、科学技術と応用科学を交差させ、座談会も前向きで取り扱っている。

また、このほか、文部省の補助から、文学部以外への原案承認と移転に賛成するものもあられるが、文部省については、同大からは、未だ反対するものが多いのは、解決の道はないとして、移転問題、文学部切替の事態を心配している。

このため、大卒の要請で、築波と機動隊、福中隊の百四十人を出動、管内にいた学生十人、公務員十人、交通整理の進行現で逮捕した。この逮捕者の中に、リストをつづける教育学者大田隆生二人が含まれていたため、同大の長島四夫、丘原直樹教授が大卒者に「不当逮捕だ」と抗議した。

また、同日予定されていた評議会は、この騒ぎのため中止された。

7/5 毎日朝刊



この日、筑波大学への移転問題が、評議会と大学との正式方針を定めた。評議会は、移転の目的を「評議会案」で明らかにした。

また機動隊 デモ学生排除

四日午後、大卒移転問題について評議会が開かれた。東教大評議会は「評議会案」を叫んで、学内でデモや集会を繰返した。学生を排除するため、再び機動隊を投入、敷地にわたって進出した。この日、構内につめた学生は、正午過ぎには約七百人、大学の講義室に詰められたデモ生約千名に、午後二時二十分すぎ、ヘルメットを押し込みを排除する機動隊

また、このほか、文部省の補助から、文学部以外への原案承認と移転に賛成するものもあられるが、文部省については、同大からは、未だ反対するものが多いのは、解決の道はないとして、移転問題、文学部切替の事態を心配している。

また、同日予定されていた評議会は、この騒ぎのため中止された。

7/12 センセイ朝刊